

RTGS化後の日本銀行当座預金決済 および国債決済の状況

2001年2月21日

決済システムフォーラム
日本銀行信用機構室

目次

- RTGS移行への歩み
- 時点ネット決済とRTGS
- 日銀RTGSの主要点
- RTGS化後の決済状況
- 市場の動向等
- 当座預金決済の状況
- 国債決済の状況
- 決済所要時間
- 時間帯毎決済件数
- 日中当座貸越
- 国債決済の不処理の発生状況

1. RTGS移行の歩み

1996年12月 = RTGS移行を提案

1996年12月 ~ 1997年2月 = パブリックコメント（注）を募集

（注） 81先（銀行23先、証券30先、信用金庫6先、金融団体5先、その他17先）からコメントが寄せられた

1997年 4月 = RTGSの枠組みを公表

1997年10月 = RTGSに関する中間報告を公表

：

2000年 8月 ~ 12月 = 総合運転試験

2001年 1月 4日 = RTGSに移行

2. 時点ネット決済

日本銀行当座預金口座

	A銀行	B証券	C金庫
9:00	150	150	150
振替指図 (A B、100)	(-100)	(+100)	
振替指図 (A C、20)	(-20)		(+20)
振替指図 (B A、50)	(+50)	(-50)	
受払差額の計算	-70	+50	+20
13:00	80	200	170

↓ 決済

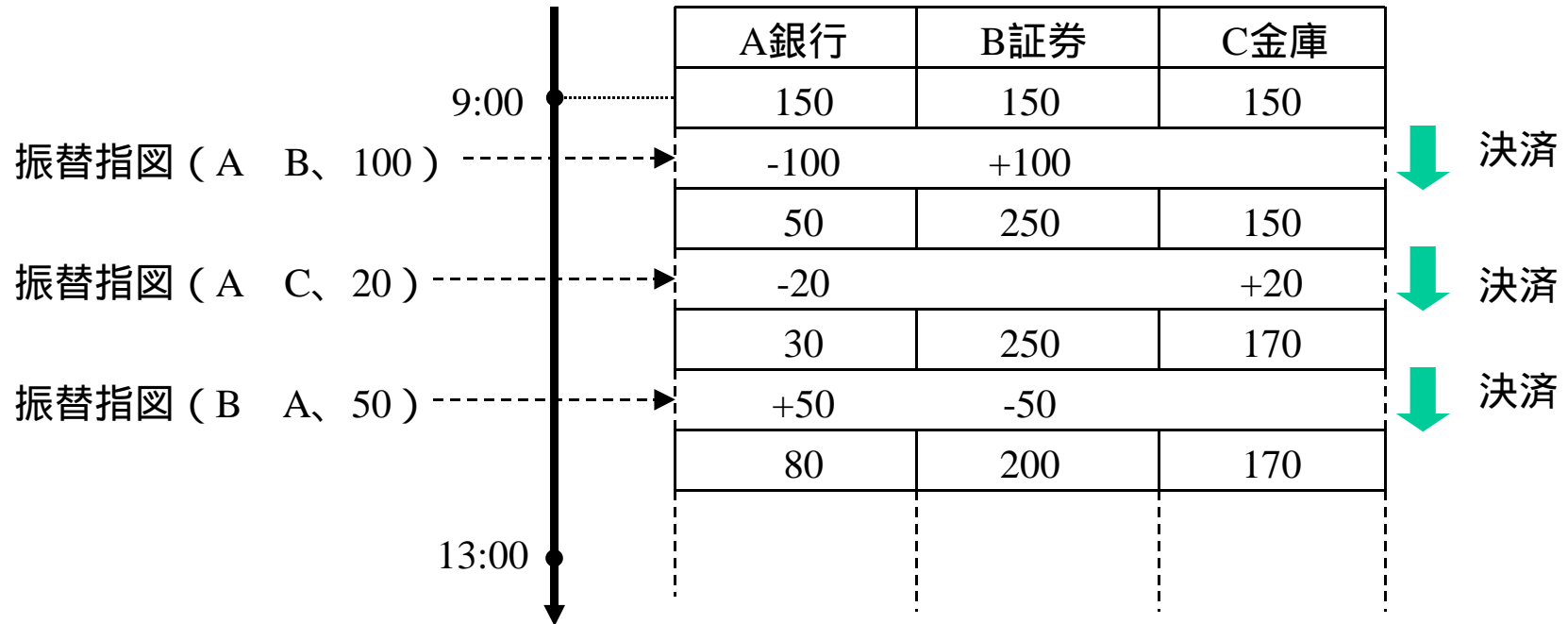
日本銀行に届いた指図は、一定時点まで溜めておかれる
その時点が来ると各金融機関について「総受取額」と「総支払額」の差額のみが、日本銀行にある各金融機関の当座預金口座で決済される
金融機関に1先でも支払いを行えない先が出てくると、その時点での全ての金融機関の、全ての決済が停止してしまう

⇒ システミックリスクが大きい

3. 即時グロス決済

(RTGS=Real Time Gross Settlement)

日本銀行当座預金口座



日本銀行が指図を受け付けると即座に1件毎に、日本銀行にある各金融機関の当座預金口座で決済

支払いを行えない金融機関が出てきても、直接の影響は取引の相手方に限定される

⇒ システミックリスクが削減される = 決済システムとしての安定性が向上

4. 日銀RTGSの主要点

- 時点ネット決済を廃止、RTGSに一本化
- 国債の決済もRTGSに移行
- 決済サービスの提供時間を延長
- 当座預金取引先に日中当座貸越を提供

5 . R T G S 化後の決済状況

- ・ RTGSは、1月4日、予定どおりスタート
- ・ RTGS化実施後これまで、当座預金決済、
国債決済とともに、決済は円滑に進捗

6. 市場の動向等

- ・ 市場取引のボリュームは、円滑な決済状況を背景に着実に回復
- ・ 新しい市場取引も徐々に増加
 - 日中コール取引、オープンエンドのコール取引（注）、T+0レポ<当日約定、当日決済>取引等
- ・ 年末年始にかけ一時高止まりした一部の市場金利も、落ち着きを示している

O/N 系金利の推移（％）

	2000年 11月中	2000年 12月中	2001年 1月9日	2001年 1月31日	2001年 2月19日
コール (O/N)	0.25	0.24	0.21	0.25	0.25
コール (T/N)	0.29	0.31	0.52	0.32	0.29
ユーロ円 (T/N)	0.29	0.37	1.50	0.40	0.32
GCレポ (S/N)	0.31	0.39	0.59	0.49	0.37

7. 当座預金決済の状況

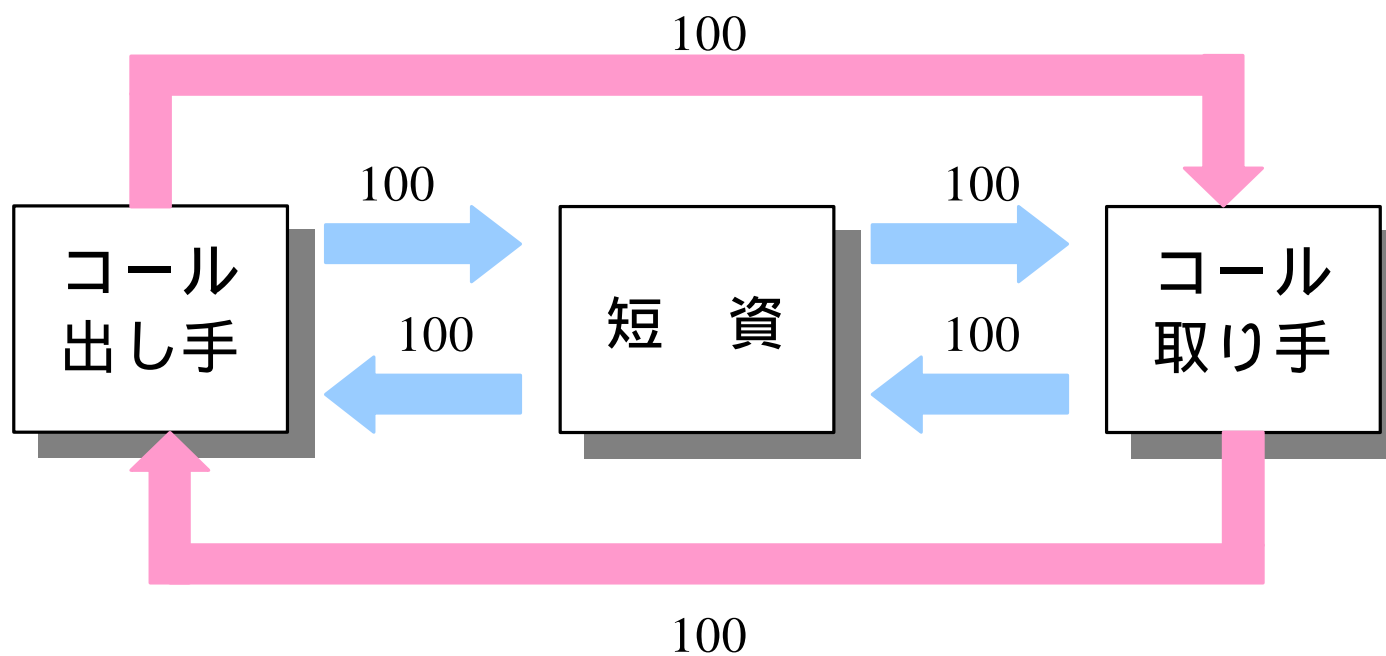
- 当座預金決済件数は、1月半ば以降、RTGS実施前の水準を回復
 - 当座預金決済金額は、RTGS実施前に比べ大幅に減少
 - 決済金額縮減を狙いとした市場慣行の変更が影響
：コール取引における決済方法の変更（短資口座経由決済の廃止＜参考＞）やバイラテラル・ネットィング^{（注）}の導入、など
- ^{（注）}2当事者が同じタイミングでお互いの間で資金の受取と支払を行う場合に、受取額と支払額を差し引きし、その差額について決済を行うこと

当座預金振替<一般的な振替> (注) 状況 (片道ベース、1営業日平均)

(注) 国債DVP、集中決済、才ペ、財政資金、小切手等を除く、一般的な当座預金振替の払出件数・金額

日付	当座預金振替		
	件数(件)	金額(兆円)	1件当り金額(億円)
12年中	7,623	97.7	128.2
12/ 11月	7,918	103.6	130.9
12月	7,881	98.1	124.5
13/ 1月	7,385	38.1	51.6
1/ 上旬	6,328	34.8	55.1
中旬	7,148	37.1	51.9
下旬	8,123	40.6	50.0
2/ 上旬	7,599	37.5	49.3
中旬	8,000	41.3	51.7

< 参考 > コール取引決済の仕組み



- 短資口座経由の場合・・・決済は合計400億円
- 短資口座経由でない場合・・・決済は合計200億円
— 金額は半分となる

8. 国債決済の状況

- ・ 国債DVP決済件数は、1月下旬以降、RTGS実施前の水準を上回って推移
 - 決済円滑化のための市場慣行変更（決済単位の小口化）が影響
- ・ 国債DVP決済額は、2月入り後、前年比9割程度の水準まで回復
 - 決済金額の前年比減少には、バイラテラル・ネットィングの普及も影響

国債DVPの決済状況（片道ベース、1営業日平均）

日付	国債DVP決済		
	件数（件）	金額（兆円）	1件当り金額（億円）
12年中	5,943	26.7	45.0
12/11月	6,571	31.7	48.3
12月	5,547	27.0	48.7
13/1月	5,328	15.8	29.6
1/ 上旬	1,042	4.1	39.7
中旬	5,315	15.7	29.5
下旬	7,486	21.7	28.9
2/ 上旬	7,187	21.4	29.8
中旬	7,843	25.1	32.1

（注） 計数は、DVP決済による振込口座振替および移転登録の件数・金額の受払を足し合わせ2で割ったもの

9. 決済所要時間

- ・ 国債決済の所要時間は、1件当たり約10分で安定的に推移
 - 事務習熟度の向上等を背景に、ランニングテスト時（昨年10～12月）に比べ、さらに改善

国債決済所要時間

（単位：分）

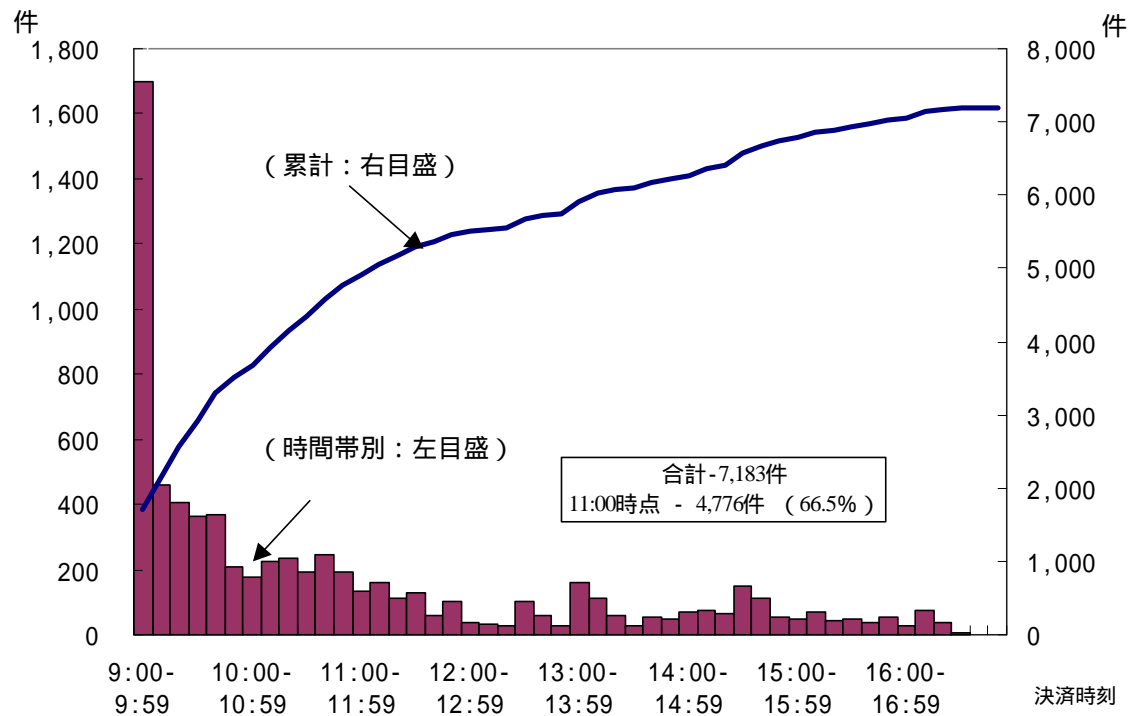
		通常日	10年利付国債 発行日
1月中		10.4	(2001/1/25日) 9.3
(ランニング テスト 実績 参考)	ラウンド1	(2000/10/21日) 38.1	(2000/10/29日) 37.1
	ラウンド2	(2000/11/11日) 17.9	(2000/11/18日) 20.2
	ラウンド3	(2000/12/2日) 15.1	(2000/12/3日) 14.2

（注）決済所要時間とは、日銀ネットを利用して国債DVP決済を行う際に、国債の売り手が国債受渡依頼の電文を送信してから、買い手が資金受渡依頼の電文を送信するまでの時間を指す

10. 時間帯毎決済件数

- ・ 当座預金、国債（既発債）ともに、朝一番から決済が急ピッチで進捗
 - 朝方の2時間で、当座預金決済の約7割、国債（既発債）DVP決済の9割以上が完了

1. 当座預金（通常日 < 1/18日：木 >）



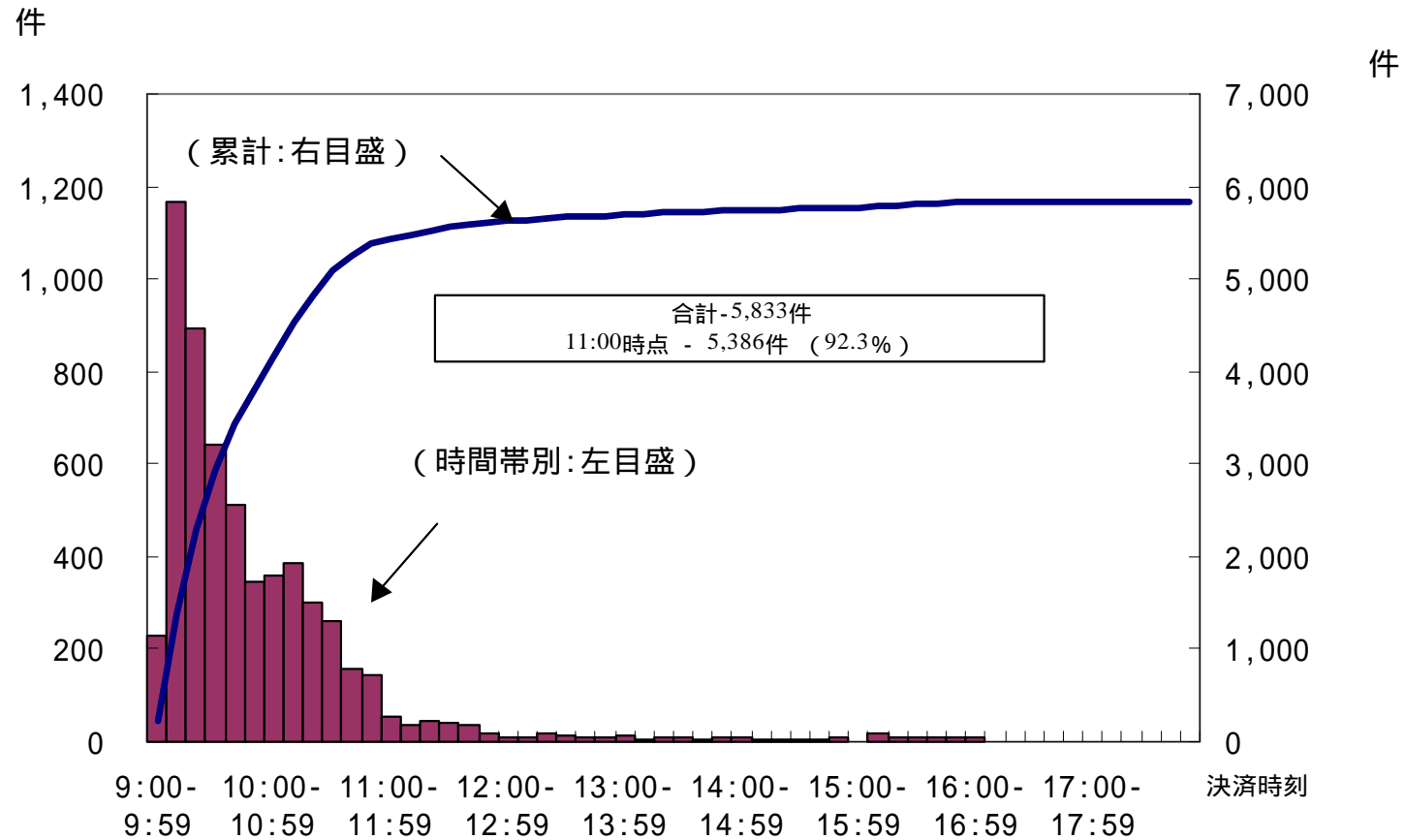
（参考） 時点ネット決済
時における時点別決済
処理の割合（2000
年8月中）。

（構成比）

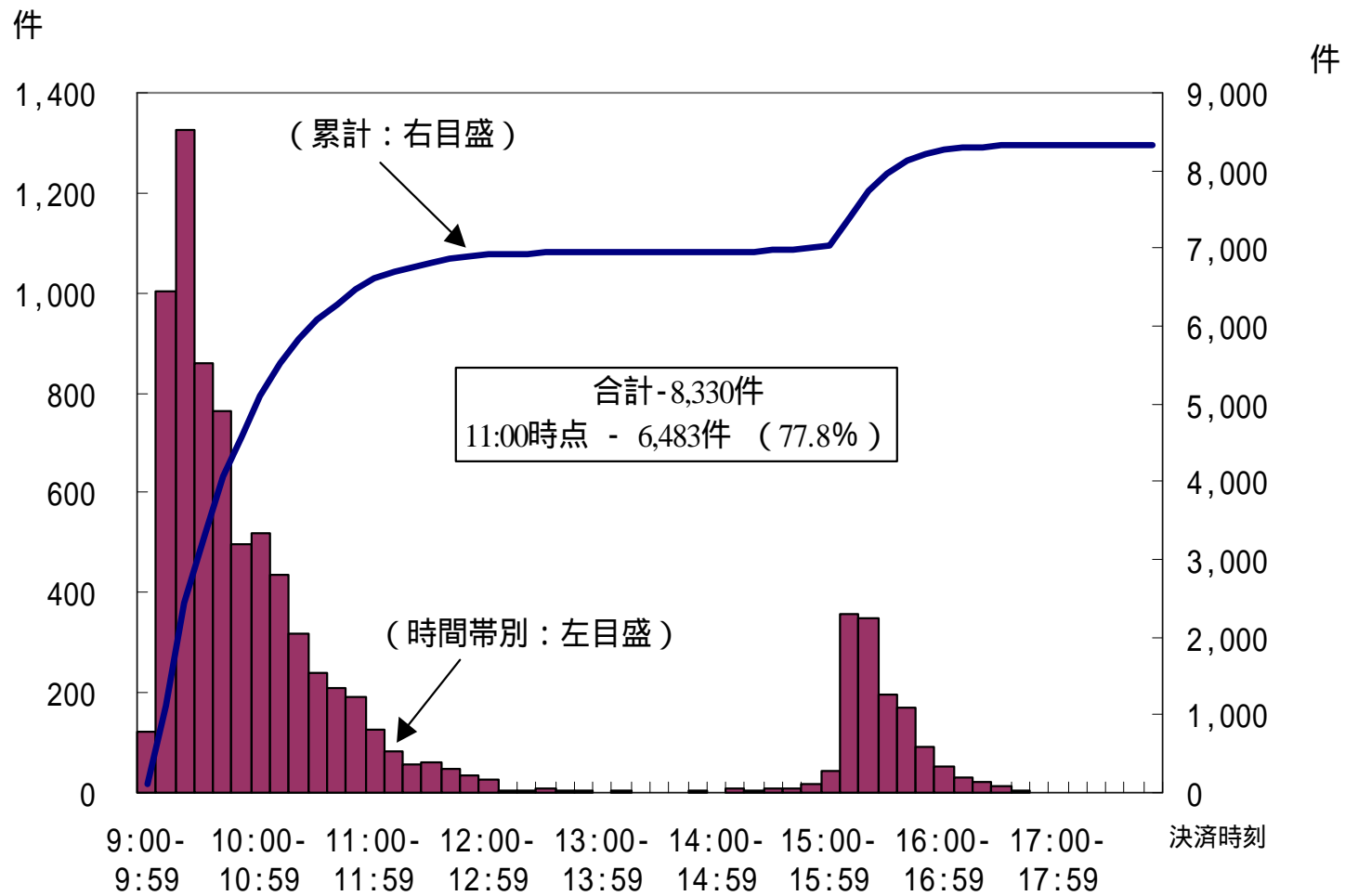
9:00	0.3%
13:00	57.5%
15:00	38.4%
17:00	3.6%

2 . 国債DVP

通常日 (1 / 1 8 <木>)



10年利付国債発行日（1 / 25日：木）



11. 日中当座貸越

- 日本銀行による日中当座貸越は、午前10時前後にピークに達する傾向
- 日中当座貸越のピーク時残高は、日々変動するものの、11～14兆円程度

12. 国債決済の不処理（フェイル）の発生状況

- 1月中の国債決済不処理（フェイル）の発生件数は、99件、発生率0.1%と、ランニングテスト時に比べ、僅少にとどまった
 - T+0レポ取引（当日約定、当日決済）の実行等の結果、フェイルにつながらなかった例も少なくない模様
- 不処理の平均期間は1.2日
 - 決済予定日の翌日には、不処理の8割が解消している

フェイル発生状況

（日本銀行調べ、日銀ネット国債DVPシステム利用約340先からのアンケート）

	フェイルの発生状況				
	合計件数 （件）	額面総額 （億円）	平均期間 （営業日/件）	最長期間 （営業日）	バイ・イン ^{（注）} 合計件数 （件）
13/1 月	99	2,579	1.21	3	0

< 参考 >

1月中
国債DVP決済件数
101,230件

（注）フェイルを解消するため、本来の決済予定日の10営業日後以降に買い手側が別途市場から対象債券を買い入れ、売り手側に差損、経過利子および費用の請求を行うこと

< 参考 > 国債決済処理比率*の推移

*国債決済処理比率 = 実際に実行された決済件数 / 決済予定件数

		通常日	国債発行日
1 月中		99.9%	
(参考) ランニングテスト時 (注)	ラウンド 1	(2000/10/21 日) 94 ~ 95%	(2000/10/29 日) 82 ~ 86%
	ラウンド 2	(2000/11/11 日) 99%程度	(2000/11/18 日) 97 ~ 98%
	ラウンド 3	(2000/12/ 2 日) 99%台	(2000/12/3 日) 98 ~ 99%

(注) ランニングテストの計数は、フェーズ2において日銀ネットが取得した決済データ、および参加先から回収した試験結果報告書などを用いて推計